

令和元年度供給・献血実績等について



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

令和2年9月10日（木）
薬事・食品衛生審議会
血液事業部会献血推進調査会

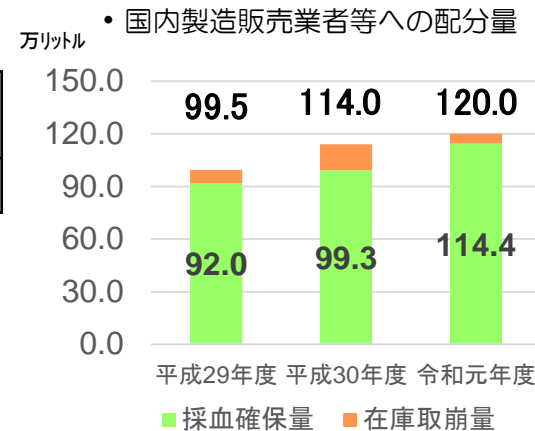
- 1 製造実績
- 2 供給実績
- 3 献血実績
- 4 献血血液確保に係る取組について
- 5 新型コロナウイルス感染症に伴う対応について
- 6 まとめ

1 製造実績

種別	献血推進計画における製造見込量	製造量(実績)
赤血球製剤	51万リットル	51.4万リットル
血漿製剤	26万リットル	25.5万リットル
血小板製剤	17万リットル	17.1万リットル

・原料血漿

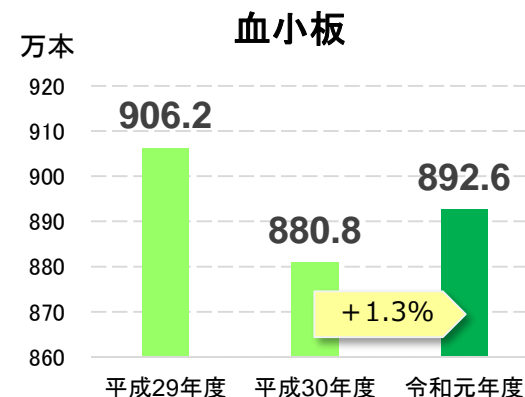
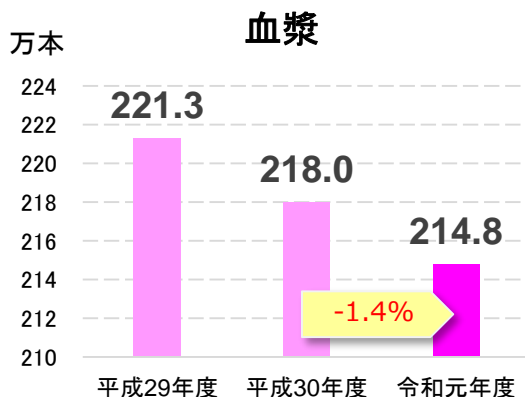
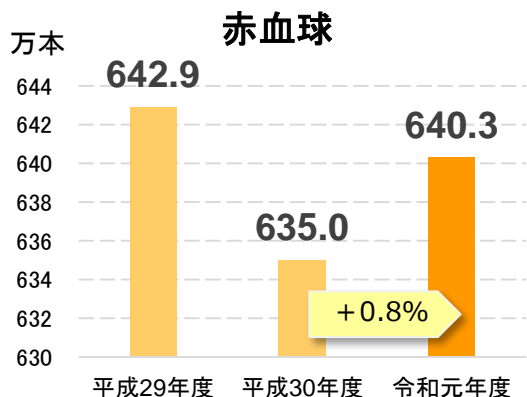
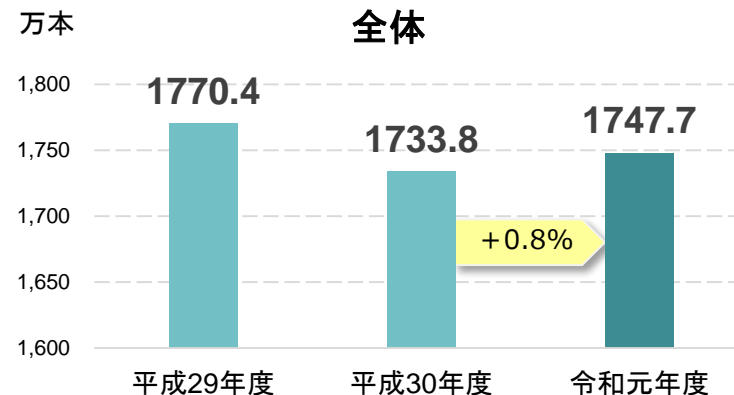
需給計画における確保目標量	確保量(実績)
112.0万リットル	114.4万リットル



2 供給実績

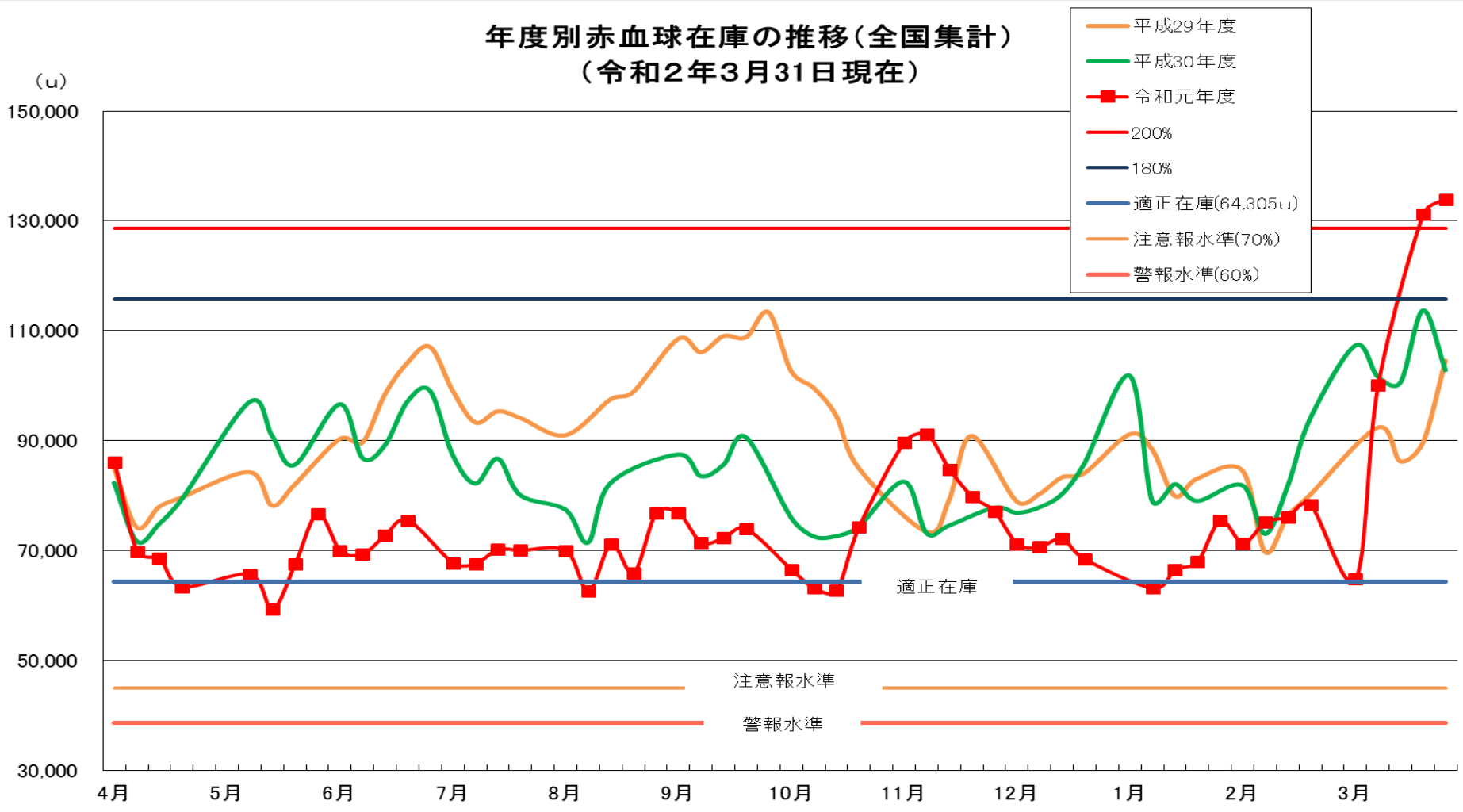
- 全体は前年に対し、0.8%増の1,747.7万本
- 赤血球製剤は0.8%増の640.3万本
- 血漿製剤は1.4%減の214.8万本
- 血小板製剤は1.3%増の892.6万本

※本数は200mL献血由来を1本とした換算数



赤血球製剤の在庫推移

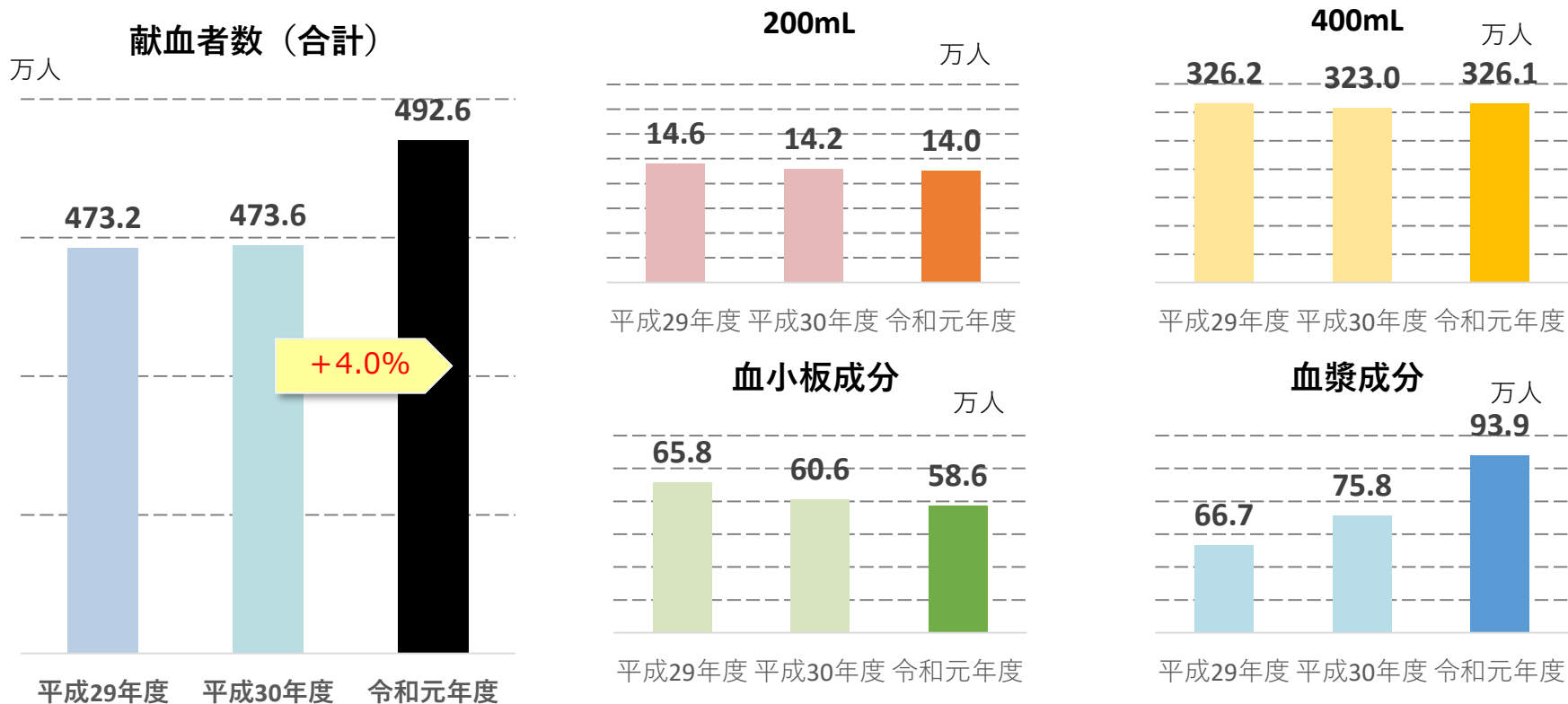
年度別赤血球在庫の推移(全国集計)
(令和2年3月31日現在)



年間を通じて安定供給が確実に行えている

3 献血実績

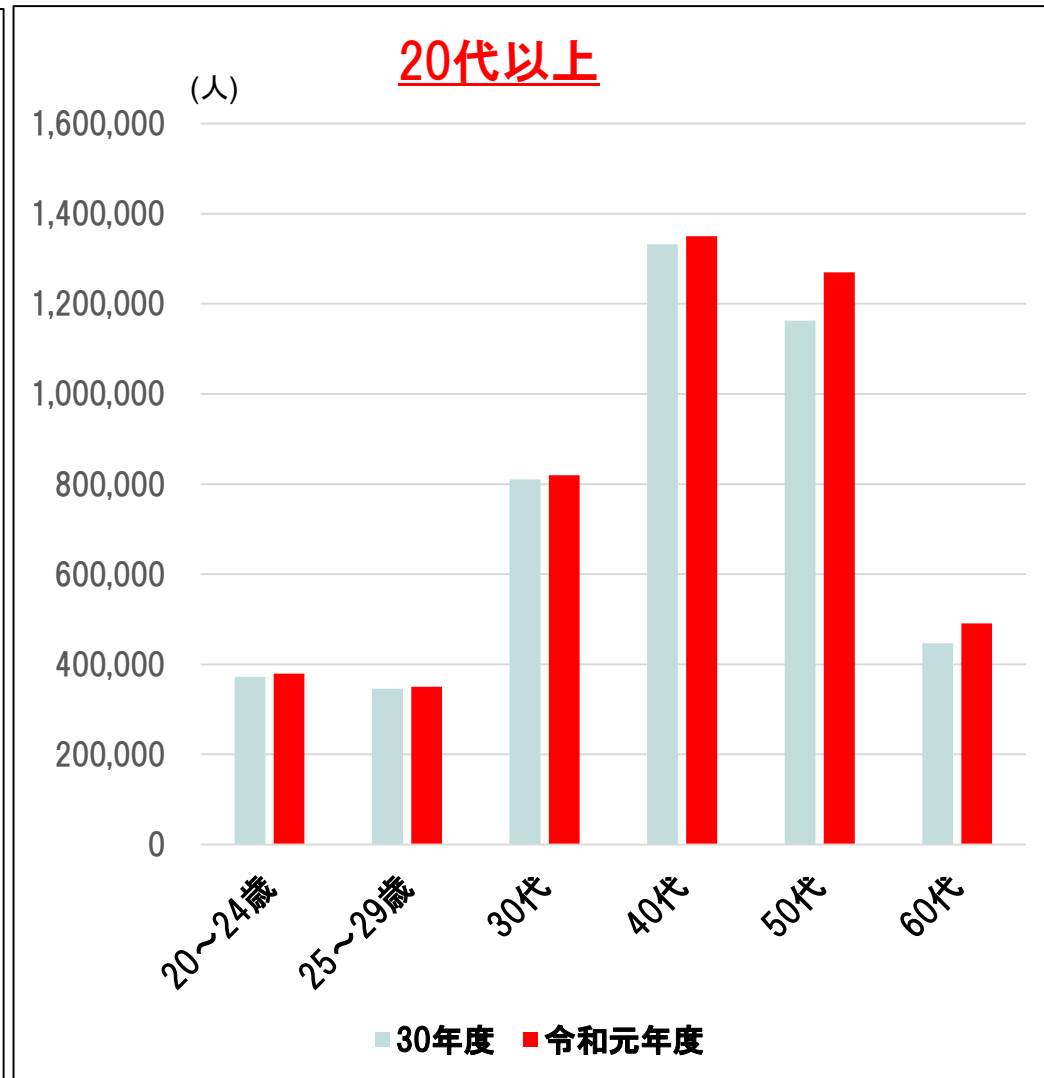
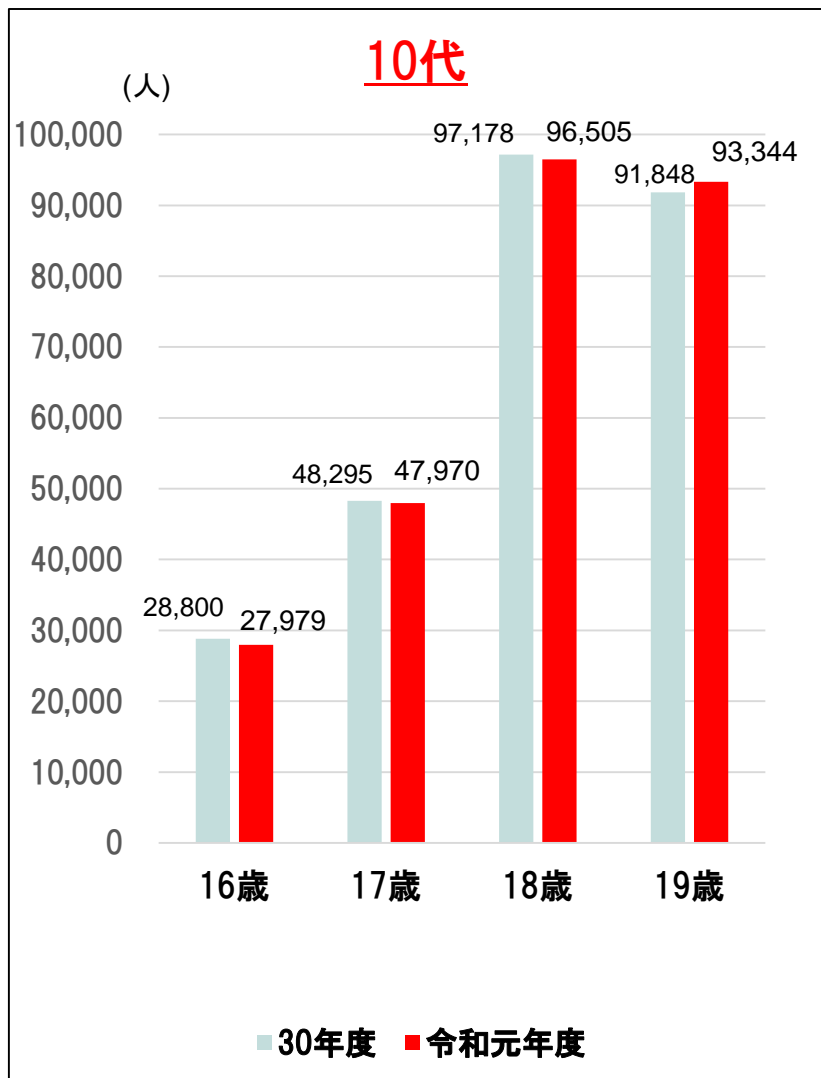
総献血者数は、平成30年度比で190,544人増（4.0%増）の492万6千人



・ 献血推進計画における確保目標量に対する実績

種別	目標量	採血量(実績)
全血採血	133万リットル	133万リットル
血漿成分採血	49万リットル	50万リットル
血小板成分採血	31万リットル	31万リットル

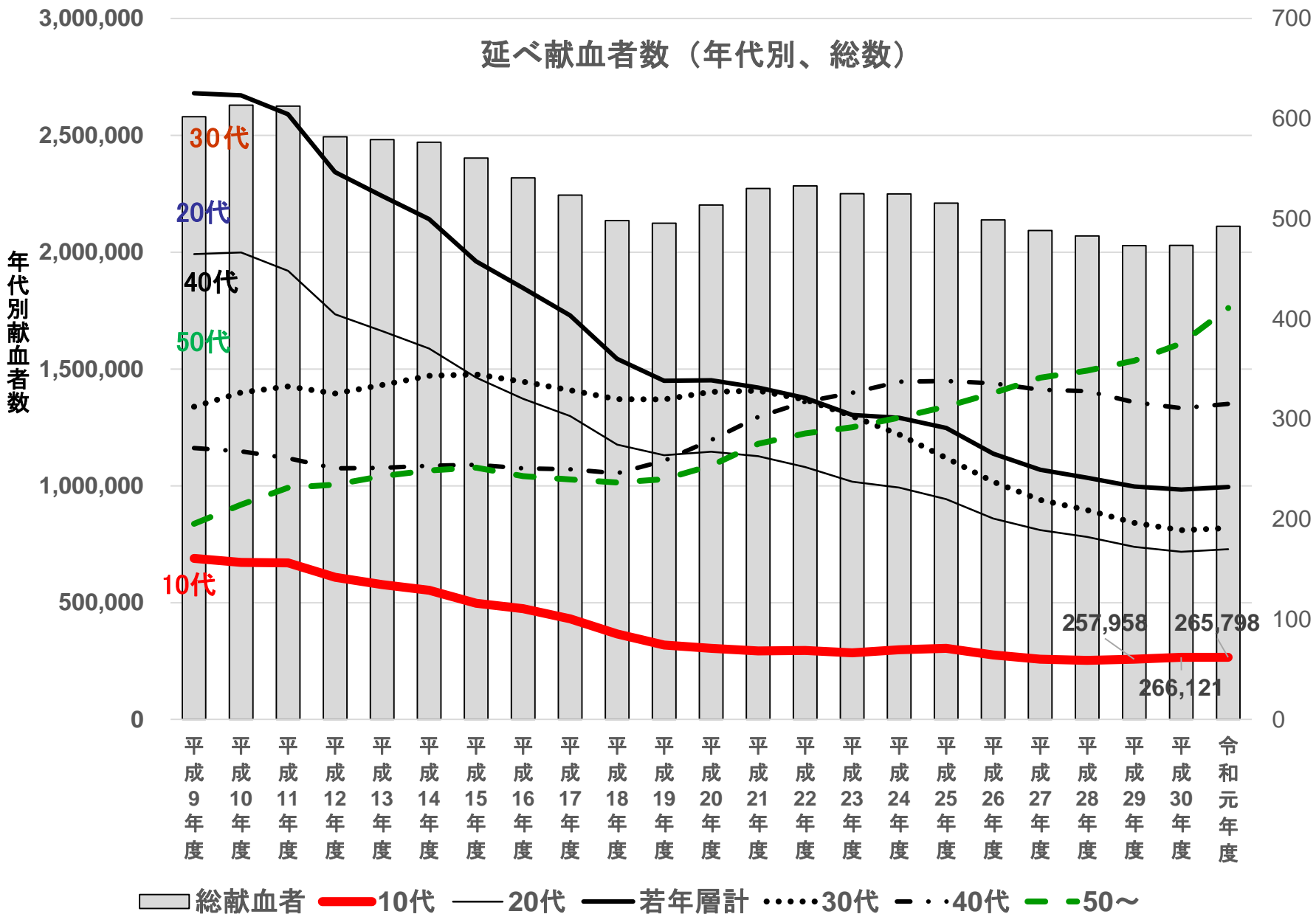
年代別献血状況（対前年度）



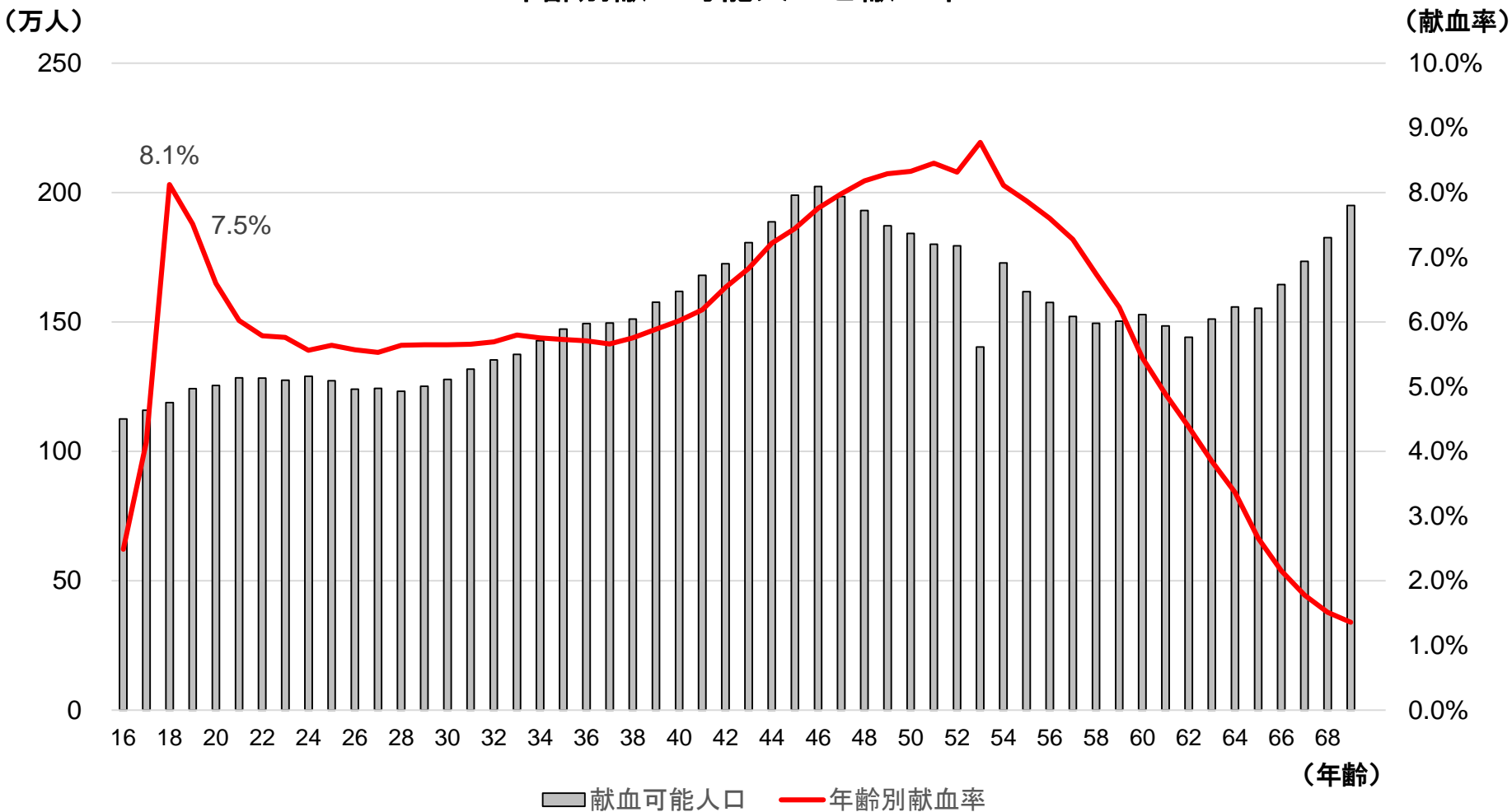
10代の献血者は、対前年度で323人減（-0.1%）とほぼ横ばいであった。

(万人)

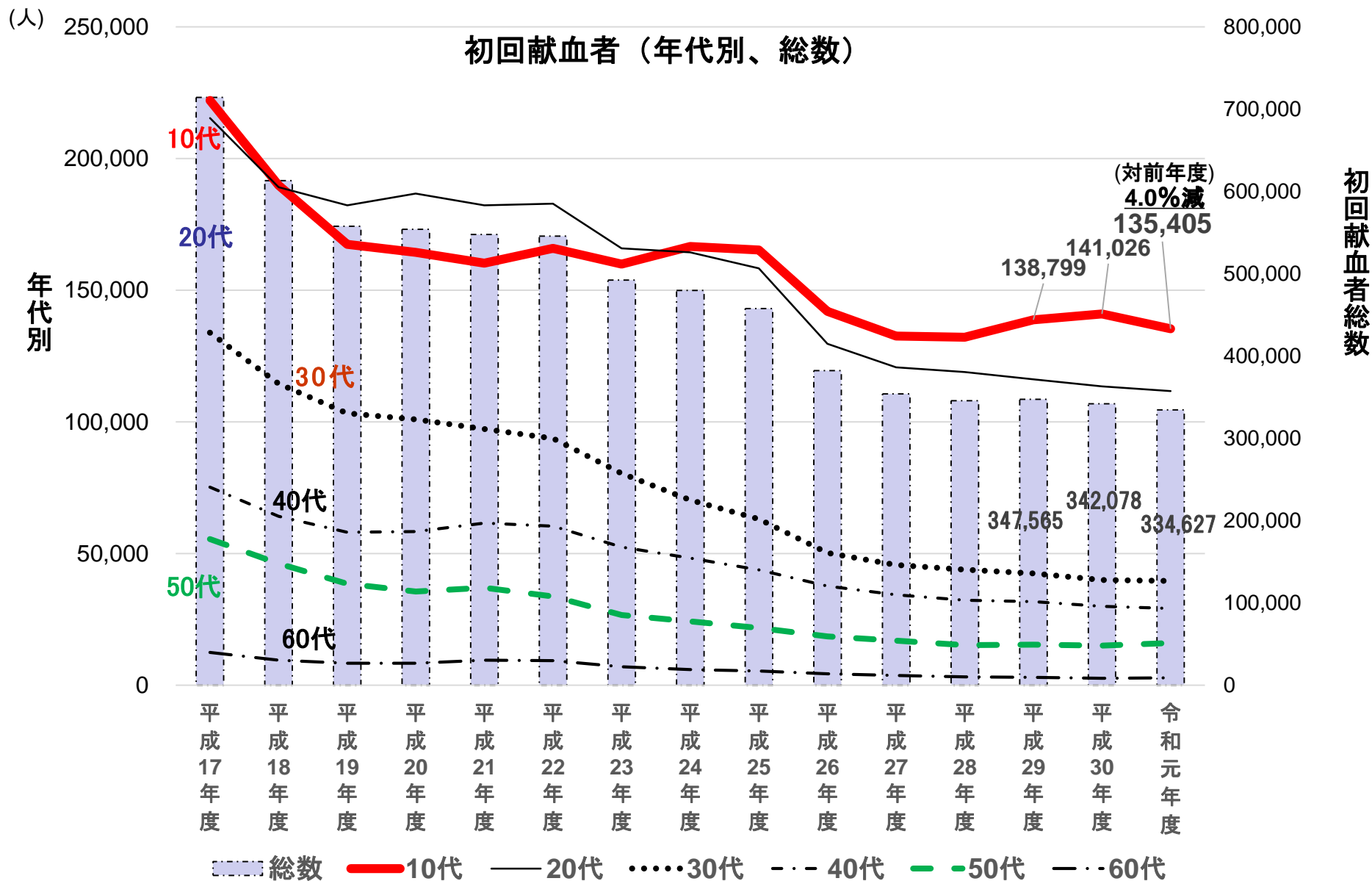
延べ献血者数（年代別、総数）



年齢別献血可能人口と献血率



年齢別献血率は、18歳(8.1%)、19歳(7.5%)をピークに24歳まで減少し、35歳までは横ばいとなる傾向である。



10代の初回献血者は、対前年度5,621人減（-4.0%）であった。

都道府県別10代献血者

年代	10代				
	16歳～19歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (H30年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
北海道	15,000	14,890	15,370	99.3%	96.9%
北海道ブロック	15,000	14,890	15,370	99.3%	96.9%
青森県	3,600	3,831	3,996	106.4%	95.9%
岩手県	2,650	1,992	1,973	75.2%	101.0%
宮城県	5,952	6,459	6,246	108.5%	103.4%
秋田県	2,202	2,039	1,898	92.6%	107.4%
山形県	2,098	2,111	2,182	100.6%	96.7%
福島県	3,100	3,102	3,346	100.1%	92.7%
東北ブロック	19,602	19,534	19,641	99.7%	99.5%
茨城県	6,420	6,749	6,642	105.1%	101.6%
栃木県	8,397	8,983	8,806	107.0%	102.0%
群馬県	5,650	6,528	6,027	115.5%	108.3%
埼玉県	15,615	13,290	14,510	85.1%	91.6%
千葉県	12,355	12,231	12,122	99.0%	100.9%
東京都	29,720	28,029	28,774	94.3%	97.4%
神奈川県	15,186	14,571	15,379	96.0%	94.7%
新潟県	5,327	5,024	5,447	94.3%	92.2%
山梨県	3,400	3,324	3,398	97.8%	97.8%
長野県	2,837	2,789	2,735	98.3%	102.0%
関東甲信越ブロック	104,907	101,518	103,840	96.8%	97.8%
富山県	2,080	2,335	2,259	112.3%	103.4%
石川県	2,360	2,760	2,520	116.9%	109.5%
福井県	1,260	1,366	1,213	108.4%	112.6%
岐阜県	3,570	3,442	3,355	96.4%	102.6%
静岡県	7,460	7,433	7,403	99.6%	100.4%
愛知県	14,670	14,696	14,264	100.2%	103.0%
三重県	2,300	2,077	2,095	90.3%	99.1%
東海北陸ブロック	33,700	34,109	33,109	101.2%	103.0%

年代	10代				
	16歳～19歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (H30年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
滋賀県	2,400	2,648	2,514	110.3%	105.3%
京都府	5,038	5,382	4,960	106.8%	108.5%
大阪府	17,410	18,012	17,371	103.5%	103.7%
兵庫県	10,998	10,299	10,903	93.6%	94.5%
奈良県	1,950	2,001	1,930	102.6%	103.7%
和歌山県	2,310	2,981	2,486	129.0%	119.9%
近畿ブロック	40,106	41,323	40,164	103.0%	102.9%
鳥取県	952	969	883	101.8%	109.7%
島根県	936	893	1,045	95.4%	85.5%
岡山県	4,518	4,322	4,449	95.7%	97.1%
広島県	6,478	6,492	6,216	100.2%	104.4%
山口県	2,150	2,278	2,051	106.0%	111.1%
徳島県	1,132	973	1,062	86.0%	91.6%
香川県	1,949	1,919	1,887	98.5%	101.7%
愛媛県	3,446	3,154	3,388	91.5%	93.1%
高知県	1,426	1,135	1,305	79.6%	87.0%
中四国ブロック	22,987	22,135	22,286	96.3%	99.3%
福岡県	11,564	13,230	12,330	114.4%	107.3%
佐賀県	1,243	1,311	1,273	105.5%	103.0%
長崎県	2,823	2,811	2,863	99.6%	98.2%
熊本県	4,674	4,733	4,880	101.3%	97.0%
大分県	2,033	1,856	1,840	91.3%	100.9%
宮崎県	2,025	1,815	1,797	89.6%	101.0%
鹿児島県	3,190	2,681	2,945	84.0%	91.0%
沖縄県	3,900	3,852	3,783	98.8%	101.8%
九州ブロック	31,452	32,289	31,711	102.7%	101.8%
合計	267,754	265,798	266,121	99.3%	99.9%
差異 (R1-H30)			-323		

都道府県別20代献血者

年代	20代				
	20～29歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (H30年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
北海道	37,140	37,883	36,910	102.0%	102.6%
北海道ブロック	37,140	37,883	36,910	102.0%	102.6%
青森県	7,500	6,591	6,434	87.9%	102.4%
岩手県	7,570	6,817	6,501	90.1%	104.9%
宮城県	16,160	15,788	15,991	97.7%	98.7%
秋田県	7,712	6,007	5,968	77.9%	100.7%
山形県	6,259	5,867	5,745	93.7%	102.1%
福島県	11,781	9,941	10,513	84.4%	94.6%
東北ブロック	56,982	51,011	51,152	89.5%	99.7%
茨城県	14,331	12,917	12,825	90.1%	100.7%
栃木県	11,752	11,759	11,089	100.1%	106.0%
群馬県	12,454	11,222	11,148	90.1%	100.7%
埼玉県	34,706	30,358	31,114	87.5%	97.6%
千葉県	36,107	33,067	33,679	91.6%	98.2%
東京都	123,215	106,506	103,910	86.4%	102.5%
神奈川県	45,208	42,753	42,250	94.6%	101.2%
新潟県	15,980	14,337	14,208	89.7%	100.9%
山梨県	5,035	4,855	4,580	96.4%	106.0%
長野県	11,227	9,700	9,682	86.4%	100.2%
関東甲信越ブロック	310,015	277,474	274,485	89.5%	101.1%
富山県	5,991	5,424	5,539	90.5%	97.9%
石川県	6,503	6,355	6,103	97.7%	104.1%
福井県	4,298	3,860	3,818	89.8%	101.1%
岐阜県	9,329	8,164	7,803	87.5%	104.6%
静岡県	17,632	15,733	15,556	89.2%	101.1%
愛知県	48,853	46,725	45,404	95.6%	102.9%
三重県	7,187	6,827	6,729	95.0%	101.5%
東海北陸ブロック	99,793	93,088	90,952	93.3%	102.3%

年代	20代				
	20～29歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (H30年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
滋賀県	7,150	6,198	5,885	86.7%	105.3%
京都府	17,500	17,873	17,015	102.1%	105.0%
大阪府	65,478	63,323	59,592	96.7%	106.3%
兵庫県	32,518	29,303	29,434	90.1%	99.6%
奈良県	6,940	6,265	5,922	90.3%	105.8%
和歌山県	5,100	5,523	5,038	108.3%	109.6%
近畿ブロック	134,686	128,485	122,886	95.4%	104.6%
鳥取県	3,550	3,106	3,185	87.5%	97.5%
島根県	2,931	2,717	2,858	92.7%	95.1%
岡山県	12,032	11,296	11,424	93.9%	98.9%
広島県	21,440	18,642	18,435	86.9%	101.1%
山口県	5,956	6,147	6,073	103.2%	101.2%
徳島県	4,267	3,542	3,757	83.0%	94.3%
香川県	5,121	4,405	4,352	86.0%	101.2%
愛媛県	8,722	7,865	7,678	90.2%	102.4%
高知県	4,522	4,125	4,029	91.2%	102.4%
中四国ブロック	68,541	61,845	61,791	90.2%	100.1%
福岡県	32,865	30,446	29,292	92.6%	103.9%
佐賀県	4,486	3,984	3,864	88.8%	103.1%
長崎県	8,376	7,051	7,148	84.2%	98.6%
熊本県	10,114	9,819	9,662	97.1%	101.6%
大分県	6,489	6,428	6,345	99.1%	101.3%
宮崎県	5,964	5,060	5,517	84.8%	91.7%
鹿児島県	9,826	9,080	9,363	92.4%	97.0%
沖縄県	8,450	7,647	8,206	90.5%	93.2%
九州ブロック	86,570	79,515	79,397	91.9%	100.1%
合計	793,727	729,301	717,573	91.9%	101.6%
差異 (R1-H30)	+11,728				

都道府県別30代献血者

年代	30代				
	30～39歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (H30年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
北海道	39,800	39,470	39,296	99.2%	100.4%
北海道ブロック	39,800	39,470	39,296	99.2%	100.4%
青森県	9,500	8,030	7,828	84.5%	102.6%
岩手県	9,252	7,638	7,741	82.6%	98.7%
宮城県	15,650	15,855	15,340	101.3%	103.4%
秋田県	8,751	7,288	6,747	83.3%	108.0%
山形県	7,504	7,456	7,272	99.4%	102.5%
福島県	13,232	13,526	13,821	102.2%	97.9%
東北ブロック	63,889	59,793	58,749	93.6%	101.8%
茨城県	17,542	15,876	15,791	90.5%	100.5%
栃木県	15,438	14,967	14,373	96.9%	104.1%
群馬県	16,166	14,297	14,147	88.4%	101.1%
埼玉県	40,722	36,216	36,235	88.9%	99.9%
千葉県	40,476	36,002	36,296	88.9%	99.2%
東京都	118,375	105,187	102,691	88.9%	102.4%
神奈川県	54,446	49,628	48,314	91.2%	102.7%
新潟県	17,269	15,824	15,534	91.6%	101.9%
山梨県	5,708	5,100	4,933	89.3%	103.4%
長野県	13,898	11,860	12,413	85.3%	95.5%
関東甲信越ブロック	340,040	304,957	300,727	89.7%	101.4%
富山県	7,247	6,282	6,279	86.7%	100.0%
石川県	7,699	7,265	7,218	94.4%	100.7%
福井県	5,328	4,752	4,710	89.2%	100.9%
岐阜県	12,202	10,149	9,766	83.2%	103.9%
静岡県	25,097	21,505	21,744	85.7%	98.9%
愛知県	54,179	48,843	47,467	90.2%	102.9%
三重県	10,285	9,534	9,489	92.7%	100.5%
東海北陸ブロック	122,037	108,330	106,673	88.8%	101.6%

年代	30代				
	30～39歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (H30年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
滋賀県	9,550	8,308	8,176	87.0%	101.6%
京都府	16,100	16,949	15,859	105.3%	106.9%
大阪府	66,224	60,761	59,442	91.8%	102.2%
兵庫県	37,715	33,020	32,869	87.6%	100.5%
奈良県	8,260	7,630	7,194	92.4%	106.1%
和歌山県	6,800	6,395	6,569	94.0%	97.4%
近畿ブロック	144,649	133,063	130,109	92.0%	102.3%
鳥取県	4,850	4,358	4,253	89.9%	102.5%
島根県	3,844	3,543	3,540	92.2%	100.1%
岡山県	13,908	13,006	13,116	93.5%	99.2%
広島県	23,377	20,988	20,246	89.8%	103.7%
山口県	7,830	7,818	7,758	99.8%	100.8%
徳島県	5,732	4,904	5,044	85.6%	97.2%
香川県	7,066	5,790	5,980	81.9%	96.8%
愛媛県	10,083	8,459	8,676	83.9%	97.5%
高知県	5,452	4,684	4,722	85.9%	99.2%
中四国ブロック	82,142	73,550	73,335	89.5%	100.3%
福岡県	38,546	34,308	34,306	89.0%	100.0%
佐賀県	5,910	5,404	5,472	91.4%	98.8%
長崎県	10,907	9,552	9,625	87.6%	99.2%
熊本県	13,183	12,650	12,581	96.0%	100.5%
大分県	8,951	8,514	8,739	95.1%	97.4%
宮崎県	7,488	6,506	6,980	86.9%	93.2%
鹿児島県	12,387	12,140	11,598	98.0%	104.7%
沖縄県	12,300	11,473	11,932	93.3%	96.2%
九州ブロック	109,672	100,547	101,233	91.7%	99.3%
合計	902,229	819,710	810,122	90.9%	101.2%
差異 (R1-H30)	+9,588				

4 献血血液確保に係る取組について

(1) 広報資材の作成

- ①高校生や大学生をはじめ若年層に受け入れられやすい内容の情報誌「愛のかたち献血」・「みんなの献血ナビ」を作成
 ・令和元年度：193,300部（愛のかたち献血）・630,000部（みんなの献血ナビ）

- ②献血啓発用ポスターや「はたちの献血」キャンペーンポスター等を作成

- ・愛の血液助け合い運動月間 令和元年度：19,990部（平成30年度 27,665部）
- ・はたちの献血キャンペーン 令和元年度：18,340部（平成30年度 20,080部）



(2) 映像素材の作成

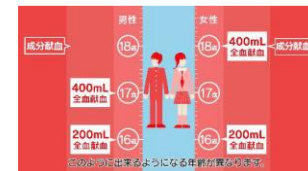
- ①テレビ、ラジオCM「みんなの献血」用
- ②テレビ、ラジオCM「はたちの献血」キャンペーン用
- ③献血をわかりやすく視覚で訴えるインフォグラフィック動画「What's KENKETSU?（1分版、3分版）」を更新
- ④オリジナル献血絵本「けんけつのはなし」読み聞かせ動画
- ⑤YouTuber「ボンボンTV」とのコラボ動画 34万回視聴

(3) 若年層に対する働きかけ

- ①年代別献血目標人数の設定（10～30代）

平成29年度より、行政との連携により都道府県別に目標人数を設定

- ・週単位での進捗管理（全国の血液センターで情報を共有）
- ・各ブロック、各血液センターにおいて若年層強化対策を実施



- ②学校献血の機会を拡大し若年層献血血液の確保強化

- ・高等学校：実施校数20校減少 令和元年度1,286校（前年度1,306校）
- ・大学、専門学校等：実施校数29校減少 令和元年度815校（前年度844校）

（参考資料2 1ページ）

- ③献血セミナーの実施

- ・学校等での開催：1,950回（受講者：221,873人）
- ・血液センター等での開催：897回（受講者：15,611人）

（参考資料1 11ページ）

(4) その他の普及啓発 献血つながりプロジェクト『みんなの献血』

⇒主に10代～30代の献血者を増加させることを目的に展開

①行催事を切り口に、乃木坂46を起用したオリジナルグッズを作製し、献血者に配付（計5回実施）

オープニング：6/12～ ハロウィン：10/1～31 クリスマス：12/1～25

バレンタイン：1/27～2/16 春休み：3/2～31

②Twitterによる情報発信（フォロワー6,698人）8/20現在

③若者に人気のアニメ“ラブライブ！サンシャイン!!”とのタイアップによる献血推進

オリジナルクリアファイル20,000枚配付

④献血啓発オリジナル絵本の制作

※幼稚園・保育園、小学校、図書館、児童館、赤十字関連施設に34,000冊献本

※簡易版の絵本をイベント等で配布するため各血液センターに50,000冊納品

⑤親子向け絵本読み聞かせイベントの実施

※全国5カ所で実施（北海道、宮城県、神奈川県、岐阜県、広島県）

⑥受血者である友寄蓮氏による献血セミナー「ありがとうの手紙 From 献血で救われたいのち」を実施

※全国で7校実施（北海道：札幌創成高等学校 栃木県：白鷗大学足利高等学校 等）

⑦乃木坂46の握手会にて特設ブースを設置し、献血バスを配車

※全国4か所で実施（宮城県、千葉県、愛知県、大阪府）

各種広報資料

(みんなの献血)



(はたちの献血)



(アニメとのコラボ)



【参考】 新たな献血推進プロジェクトの展開

令和元年6月から献血つながりプロジェクト「みんなの献血」を新たに展開

献血つながりプロジェクト みんなの献血

【プロジェクトの主たる対象】

10～30代の若年層

【プロジェクトの狙い】

- ・18歳・19歳の初回献血者の増加
- ・18歳・19歳の2回目の再来促進
- ・20代・30代の献血経験者の再来促進



若年層(10～30代)の献血者数は、前年度比で20,993人増加

献血つながりプロジェクト「みんなの献血」の概要

対象に応じて、「イベントでつながる！」「学校でつながる！」「絵本でつながる！」の3つのプロモーションを展開した。



5 新型コロナウイルス感染症に伴う対応について

- ・テレワークの推奨やオンライン授業、更にイベントの中止等により、移動採血による献血実施予定していた会場の中止増加

(令和2年5月末時点では約5,000件)

- ・必要血液量の確保に向けた対策

献血会場等での献血環境の保持及び周知

中止会場の振替実施及び献血ルームへの誘導

「ラブラッド」を通じた献血予約の推進強化

ホームページ及びマスメディア等を活用した献血協力の呼びかけ

行政機関及び関係団体との連携

- ・献血会場における掲示物



別紙1

新型コロナウイルス感染症予防のため

お願い

- ◆はじめに、**体温測定**をお願いします
発熱が確認された方については、入場をご遠慮いただいております。
- ◆必ず、**手指消毒**をお願いします
- ◆必ず、**マスクの着用**をお願いします
マスクをお持ちでない方は職員へお申し出ください。

皆様のご理解とご協力をお願いします

日本赤十字社

【献血会場入場時のお願い】

別紙2

新型コロナウイルス感染症対策として

以下に該当する方は

「献血」をご遠慮いただいております。

- ◆ 海外から帰国して「4週間以内」の方
- ◆ 発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含めた新型コロナウイルス感染症を疑う症状（※1）のある方
- ◆ 新型コロナウイルス感染症（または感染疑い）と診断された方と4週間以内に濃厚な接触があった方（※2）
- ◆ 新型コロナウイルス感染症（または感染疑い）と診断された方
- ◆ 味覚・嗅覚の違和感を自覚する方

※1 発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐など

※2 「濃厚な接触があった方」とは、次の範囲に該当する方です。

- ・患者（感染者）と複数回又は長時間の接触（濃厚、密接）があった方
- ・患者（感染者）と複数回又は長時間の接触（濃厚、密接）が1回でもあった方
- ・患者（感染者）の気体や体液が衣服や皮膚等に付着し、接触し、付着物が付いた
- ・手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、必要に応じて複数回、かつ15分以上の接触があった方

（国立感染症研究所「新型コロナウイルス感染症発生に関する基礎的学術調査報告書」）

日本赤十字社

【献血辞退の条件など】

移動採血車における感染症対策



(上部の換気も確保するためチェーンやポールを用いてビニールシートを吊り下げる)



問診にアクリル板使用



(ビニールシートを吊るすため、業者対応やスマホリングを用いて天井にフックを設置)

6 まとめ

- ・総献血者数は190,544人増（+4.0%）の約492万6千人であり、輸血用血液製剤及び原料血漿については、滞りなく安定供給が行えた。
- ・輸血用血液製剤の総供給本数は0.8%増の1,747.7万本、原料血漿の確保量は15.2%増の114.4万リットルであった。
- ・10代献血者については、前年度と比較し献血者数で延べ323人減（-0.1%）、初回者で5,621人減（-4.0%）であった。
- ・10代献血者については、献血Web会員サービス「ラブラッド」、YouTube、SNS等の施策を展開しながら初回献血を推進し、献血への理解を促す策を講じることで2回目以降の献血に繋がるよう積極的に取り組む。
- ・20代、30代献血者については、18歳、19歳をピークに30代半ばまで減少する傾向がある。献血予約を推進することで待ち時間を解消する等、利便性を高めて献血に協力いただける機会の増加を図る。
- ・中長期の需要予測に伴い安定的な献血血液の確保に向けて、ラブラッド等を活用し継続的な献血血液の確保の強化を図り、特に若年層の献血満足度の向上に努め複数回献血協力を誘導する。
- ・新しい生活様式を踏まえ、献血推進の在り方を検討。現在は基本対応として体温測定、手指消毒、マスク着用を実施しているほか、ホームページや各種メディア等で献血会場の混雑回避のため献血予約を呼びかけている。
- ・小学生から大学生への啓発（献血セミナー等）については、インターネットを活用したオンラインでの実施を取り入れながら、厚生労働省をはじめ、国・行政との連携を密にして積極的な展開を図る。